

2026（令和8）年7月31日

報道機関各位

（公財）アイヌ民族文化財団

ウポポイ初の野外音楽フェスティバルを9月に開催 ウポポイ ふえす 2026、いま － アイヌ・沖縄・奄美がつながる －

公益財団法人アイヌ民族文化財団（札幌市中央区、常本照樹理事長）が運営するウポポイ（民族共生象徴空間）は、2026年9月19日（土）から23日（水・祝）までの5日間にわたり、シルバーウィーク特別イベント「ウポポイ ふえす 2026、いま －アイヌ・沖縄・奄美がつながる－」を開催いたします。メインイベントとして、9月20日（日）および9月21日（月・祝）の2日間、アイヌアーティスト2組に加え、沖縄・奄美出身のアーティストをゲストに迎え、多彩なパフォーマンスをお届けします。

本イベントは、アイヌ文化と沖縄・奄美の文化という、日本列島の豊かな多様性を象徴する文化が、「音楽・芸能・工芸・食」を通じて交流する特別企画です。それぞれの地域で育まれてきた文化が「いま」ウポポイで出会い、未来へとつながる新たな交流を生み出すことを目指し、各地の文化の魅力を比較しながら体感できる、ウポポイならではの多彩なプログラムを展開します。

9月20日（日）および9月21日（月・祝）の2日間は、ウポポイ園内駐車場に特設ステージを設け、初の野外音楽フェスティバルを開催。Marewrew and Oki、nincup、元ちとせさん、夏川りみさんをメインステージのゲストに迎え、特別なステージをお届けします。



Marewrew and Oki



nincup



元ちとせ



夏川りみ

▼概要

タイトル	ウポポイ ふえす 2026、いま －アイヌ・沖縄・奄美がつながる－
開催日	令和8年9月19日（土）～23日（水・祝） 9:00-18:00（予定）
会場	ウポポイ駐車場特設メインステージ、チキサニステージ、体験交流ホールなど全域
内容	アイヌ古式舞踊や琉球伝統芸能の披露、アイヌ料理や沖縄料理の販売、アイヌ伝統工芸品・琉球伝統工芸品の展示、さらにはアーティストステージなど、多彩なプログラムをお楽しみいただけます。 ※内容は変更となる場合があります。
料金	観覧無料 ※別途ウポポイ入場料が必要です。

【お問合せ先】

（公財）アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋
E-mail submit@ainu-upopoy.jp TEL 0144-84-7318 FAX 0144-82-3685

▼ゲストアーティスト

Marewrew and Oki 9月20日(日)・9月21日(月・祝) 出演



【Marewrew】

Marewrew (マレウレウ) はアイヌに受け継がれてきた魅力的な歌に新たな光を与えている。Marewrew の得意とするのがウコウク(輪唱)だ。1 人が歌い始めると後に続く歌い手がわずかにずれながら歌を重ねると音響は複雑に変化し陶酔感を誘う。詩情あふれるアイヌ伝統音楽の魅力的な世界観と共に、そこに新たな解釈をほどこし、Marewrew ならではのモダンでフレッシュ、ユニークな空気が注入されることで、伝統と現代を自由に交差する普遍的魅力に満ち溢れたモダン・アイヌ伝統音楽の世界を築いている。

【Oki】

20代でアイヌカミングアウトを果たすも周囲から弾かれ、1987年にNYに移住、映像のスペシャルエフェクト、モデルメイキングの仕事に就く。1993年、東京から映画美術監督のオファーがあり帰国、しかし映画は頓挫、訪れた北海道で樺太アイヌの弦楽器トンコリと衝撃的な出会いを果たし演奏と楽器製作を独学で習得。同時に音楽制作レーベル Chikar Studio を設立、安東ウメ子、Marewrew、Oki Dub Ainu Band など数多くのレコード、CD を世に放つ。日本での活動のほか WOMAD など海外音楽フェスにも多数出演している。初のドキュメンタリーフィルム監督作品「普段着のアイヌ」の上映が2025年4月26日よりアイヌ民族博物館シアターにて通年で上映される。2026年はジャカルタ、ニューヨークを筆頭に OKI DUB AINU BAND 20周年記念ツアーを開催した。

nincup 9月20日(日)・9月21日(月・祝) 出演



月の前の細くなった月のことを、アイヌ語で「nincup (ニンチュプ)」という。

新しい世界へ旅立つ前の晩の宴。

アイヌの伝統歌、舞踊、世界五大叙事詩ユカラ、アイヌ語のオリジナル曲等、ギターの音色とともに、森と街、新しい世界への憧れ、心の葛藤を、物語のようにライブを展開してゆく。

【お問合せ先】

(公財) アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋
E-mail submit@ainu-upopoy.jp TEL 0144-84-7318 FAX 0144-82-3685

元ちとせ 9月20日（日）出演

鹿児島県奄美大島出身。

2002年『ワダツミの木』でメジャーデビュー。

故郷・奄美大島の伝統民謡“シマ唄”をルーツに持ち「その声は、100年にひとり。」と称された歌声は世間に衝撃を与え、Deep Forest、ザ・チーフタンズ、スライ&ロビー、坂本龍一ら名だたるアーティスト達との共演も果たすなど、ジャンルも国も超越した存在感を放ち続けている。

現在も奄美大島に生活の拠点を置きながらライブを中心とした活動を続ける一方、自身の音楽の原点でもある“シマ唄”を次世代に受け継ぐ語り部の一人としても注目を集める。近年はシマ唄の新しい形の追求にも注力し、2026年2月にはラトビアのグループ“Auli（アウリ）”と、6月には民謡クルセイダーズとのシマ唄コラボ作品をリリース。

2027年2月、メジャーデビュー25周年を迎える。

夏川りみ 9月21日（月・祝）出演

沖縄県石垣市出身。

2001年にリリースした3枚目のシングル「涙そうそう」が大ヒットし、広く知られるようになった。日本を代表する音楽番組「NHK紅白歌合戦」に通算6回出場歴のある、日本を代表する歌手の一人である。2008年には台湾、香港、上海でコンサートを開催し、アジアでの人気が高まる。その後もシンガポール、ベトナム、アメリカ、ブラジル、ペルーなど数多くの国で海外公演を成功させている。2024年5月、デビュー二十五周年を機に自身の歌手人生と重ねて歌詞が綴られ、どんな時もあなたの“想いに寄り添う歌がある”と語りかける楽曲『詩、歌、唄』を配信リリースし、2025年6月には25周年を締め括るアニバーサリーアルバム『うた』を発売。彼女の透き通るような歌声は、アジアのみならず世界中で聴衆を魅了し、感動を与え続けている。

【お問合せ先】

（公財）アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋

E-mail submit@ainu-upopoy.jp TEL 0144-84-7318 FAX 0144-82-3685

アイヌ民族にとって芸能は、カムイと共に生きてきた精神性を映し出す、独自の世界観を持つ伝統文化として現在まで受け継がれてきました。一方、琉球の歴史において芸能は、信仰と結びつきながら発展するとともに、政治・外交の場においても重要な役割を担うなど独自の歩みを遂げ、現代では、宮廷舞踊や地域に根付いた芸能、琉球民謡を基盤としたポピュラー音楽など、さまざまな形で継承されています。

日本の北と南、異なる風土の中で育まれてきたそれぞれの文化。これらが一堂に会するとき、新たな発見と感動をもたらすとともに、互いの魅力がより一層鮮やかに浮かび上がります。本イベントを通じて、その価値と魅力を多くの方々にお届けします。

※雨天の場合等、イベントの詳細については、順次ウポポイウェブサイトで発表いたします。

<https://ainu-upopoy.go.jp/lp/silverweek-2026/>

▼取材申込み

ウポポイウェブサイト「取材申込み」からお申し込みください。

<https://ainu-upopoy.go.jp/inquiry/press/>

【ウポポイ】日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興と創造等の拠点として 2020 年北海道白老町にオープン。正式名称は民族共生象徴空間。愛称「ウポポイ」は「(おおぜいで) 歌うこと」を意味する。公益財団法人アイヌ民族文化財団が運営。ウポポイ公式ウェブサイト：<https://ainu-upopoy.go.jp>

【お問合せ先】

(公財) アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋

E-mail submit@ainu-upopoy.jp TEL 0144-84-7318 FAX 0144-82-3685